

シンポジウム I 地域医療の共創

10月23日(月) 9:00～11:00 第1会場(仙台国際センター 会議棟 2階 大ホール)

座長：金田 巖(石巻赤十字病院 院長)

石橋 悟(石巻赤十字病院 副院長)

S1-02 地域医療の「共創」

－群馬県吾妻地域での私たちの活動－

原町赤十字病院 副院長兼第1外科部長

うちだ のぶき
内田 信之

共同演者：矢嶋美恵子、剣持 る美、狩野 道子、橋爪 直紀、
高山 裕也、湯浅 幸二、奥木 昭行

【背景】

原町赤十字病院は、草津温泉や四万温泉、浅間山など多くの観光地を抱える群馬県西北山間部の吾妻郡に存在する。吾妻郡はその面積の広さゆえに県の2次医療圏のひとつとなっているものの、人口については徐々に減少し、現在6万人を下回る高齢化率の高い過疎地である。当院は227床の中規模病院であるが、この吾妻地域では最も病床数の多い中核病院であり、県のがん診療連携推進病院、感染症指定医療機関、災害拠点病院などに指定されている。したがって、当院の様々な活動が地域全体に及ぼす影響は小さくなく、私たち職員も常に吾妻地域全体を意識した活動を心がけている。

【地域全体での活動－NPO法人の立ち上げ－】

平成17年に当院でNST活動が開始されたのを契機に吾妻地域内の他施設との連携が積極的に行われ、その後胃ろう、感染対策、褥瘡対策、糖尿病などの分野で連携が本格化した。これらの活動を行う中で私たちはチーム医療の重要性を明確に認識し、施設単位だけでなく地域全体でチーム医療を行うことが大切と考え、平成24年に地元の医師会や歯科医師会、看護師会、薬剤師会、栄養士会などとともに「NPO法人あがつま医療アカデミー」を設立した。現在までに「認知症」、「胃ろう」、「歯周病」、「摂食・嚥下障害」、「ロコモとメタボ」、「健康寿命と食事」、「がんと就労」などをテーマとした事業を行ってきた。事務局は当院の総務課に置き、他施設の医療者とともにこれらの活動を行っている。

【リビング・ウィル活動】

これらの活動の中で、現在私たちが最も重視しているのが「リビング・ウィル」啓蒙活動である。現在までに医療者や一般住民を対象に「リビング・ウィル」の研修会を60回以上開催。「リビング・ウィル」をテーマとしたフォーラムを3回開催。また「私の意思表示帳」を作成。さらに地域の医療介護者を対象とした「アドバンス・ケア・プランニング」の研修会を2回開催した。

【考察および結語】

医療の普遍的な目的は、患者や地域住民の健康と幸せの達成である。そしてこの目的を達成するために私たちが常に心がけるべきことは、時代とともに変化する医療や社会情勢を敏感に感じ取り、個人や施設だけではなく地域レベルの視点で新しいものにチャレンジする精神を保ち続けることと考えている。赤十字病院は全国津々浦々に存在する。それぞれの日赤が地域医療の「共創」を実現することで、日本の医療は必ずや良い方向へ向かうと信じている。